



生態系保全の新たな仕組みを考える —生物多様性オフセット入門—

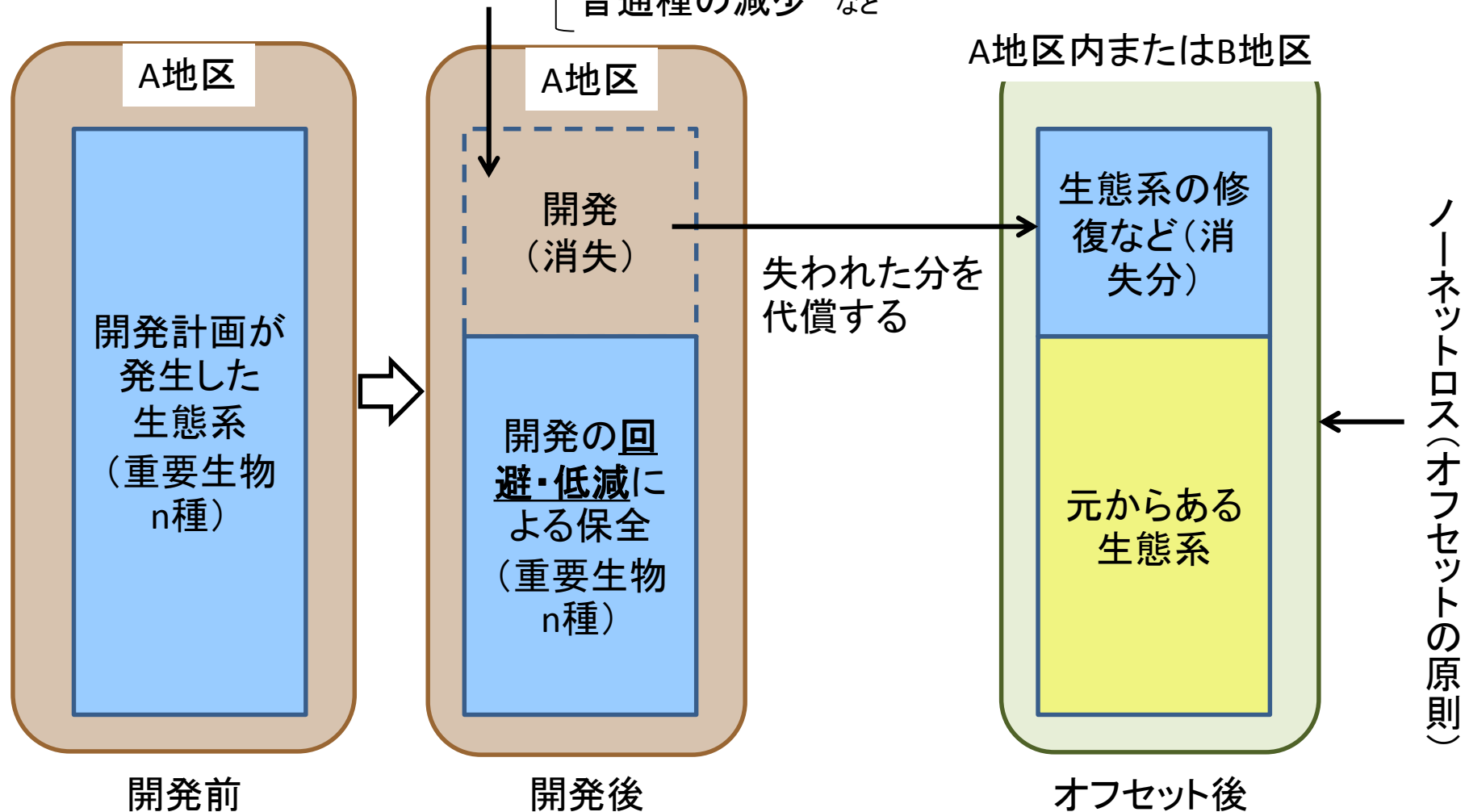
地球環境研究総合推進費1401-1「環境保全オフセット導入のための生態系評価手法の開発」主催
林野庁・日本環境共生学会 後援

生物多様性オフセット

損失(ロス)

面積の減少
重要機能の減少
普通種の減少 など

オフセット(代償)

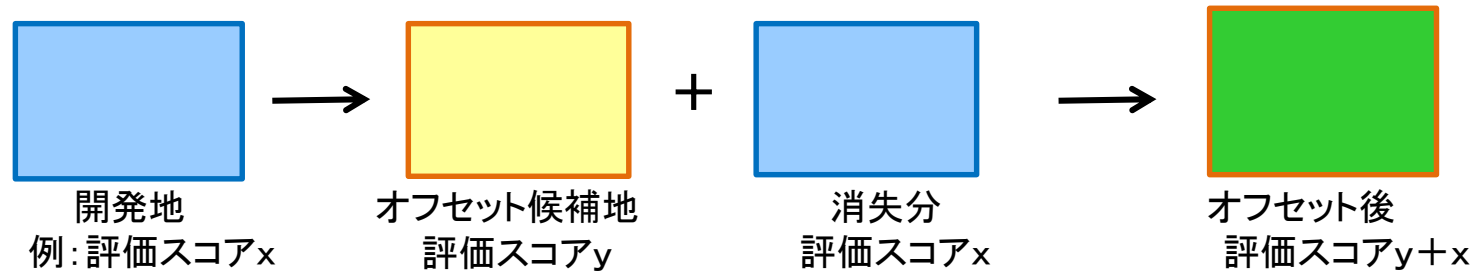


生物多様性オフセットの国際的状況

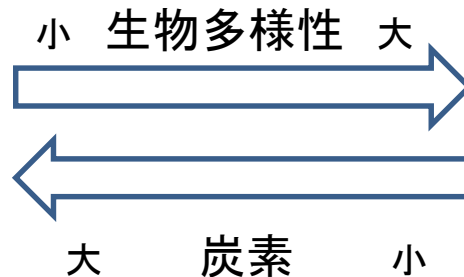
- 2014年までに、少なくとも世界で56カ国が生物多様性オフセットに関する法律や政策を有し、約97件のオフセットプログラムが実施されている
- 生物多様性オフセットはノーネットロスを原則とするが、その取り組みの方法は様々である
 - ✓ One-off オフセット: 開発者等が開発に応じて実施する
 - ✓ In-lieu fees: 開発者が開発に応じて第三者に支払いをする
 - ✓ Biobanking: 開発者が開発に応じたオフセットを購入する

環境保全オフセット導入のための生態系評価手法の開発

1. 生物多様性オフセットでは生態系の評価が必要



2. 生物多様性オフセットを実施する際には炭素にも配慮すべきである



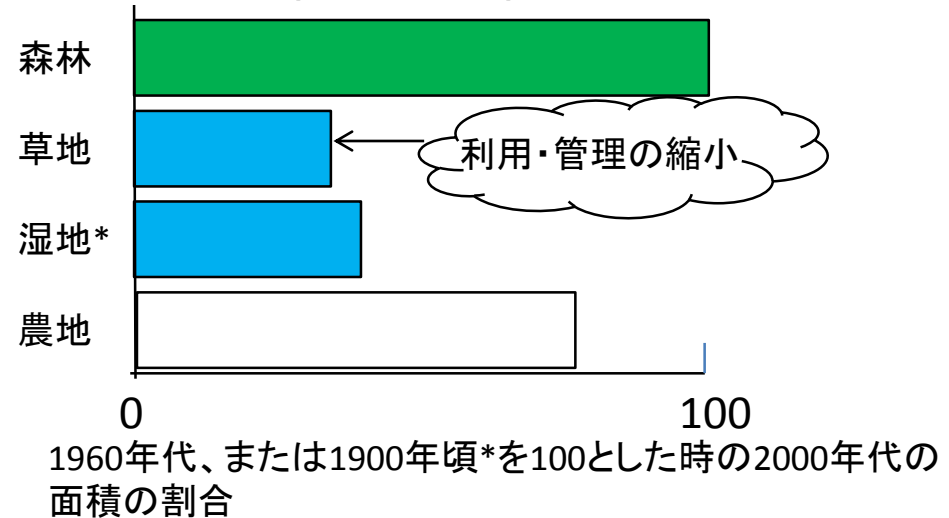
研究で対象にする生態系

日本的な要因

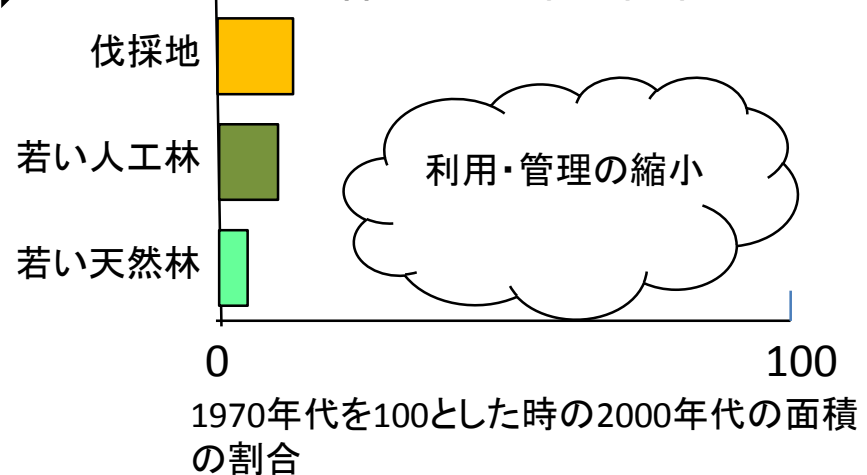
表 IV-1 2010 年までの生物多様性の損失

	損失の状態と傾向		損失の要因(日本)	
	本来の生態系 の状態から の損失	1950 年代後 半の状態か らの損失と 現在の傾向	第 1 の 危機 開発・改変 直接的利用 水質汚濁	第 2 の 危機 利用・管理 の縮小
オフセットの可能性				
森林生態系				
農地生態系	—			
都市生態系	—			—
修復・再生が急務				
陸水生態系				
沿岸・海洋生態系				—
島嶼生態系				—

陸上生態系の現状



森林生態系の詳細



生物多様性総合評価(2010)

本日の講演

➤ 生物多様性オフセットという制度について

環境影響評価における生物多様性オフセットに係る課題と対応の方向性：
水落 朋子（環境省総合環境政策局環境影響評価課）

➤ 生物多様性オフセット入門・その必要性

生物多様性の損失をゼロにするとはどういうことか？：
中静 透（東北大学生命科学研究科）

➤ 生物多様性を保全する取り組み

「龍谷の森」における市民協働型の里山保全と環境教育の取り組み：
谷垣 岳人（龍谷大学政策学部）

➤ 「炭素」に配慮した生物多様性保全

阿蘇の草原利用がもたらす炭素固定と生物多様性保全：
中坊 真（NPO法人九州バイオマスフォーラム）

パネルディスカッション

- 生物多様性オフセットへの期待
 - ✓ 生物多様性の損失を防ぐ取り組み
 - ✓ 地域連携保全活動の促進
 - ✓ 生物多様性保全の継続性
- 生物多様性オフセットで留意すべきこと
 - ✓ カーボンロスへの配慮
 - ✓ 生物多様性評価の方法